

# 秋田県MAP

- ◆ 小入川海岸と立岩
- ◆ 白瀑
- ◆ 綴子神社の千年柱
- ◆ きみまち阪
- ◆ 川井の延慶碑
- ◆ 高岳山
- ◆ 寒風山
- ◆ 潮瀬崎
- ◆ 小池板碑群
- ◆ 瀧の民俗展示室
- ◆ 旧奈良家住宅
- ◆ 通町
- ◆ 亀田不動滝
- ◆ 赤田の大仏
- ◆ 本荘公園
- ◆ 石沢峡
- ◆ 蛭満寺
- ◆ 法体の滝
- ◆ 矢立峠
- ◆ 発荷峠
- ◆ 銚子滝
- ◆ 錦木塚
- ◆ 大滝薬師神社
- ◆ 四季美湖
- ◆ 森吉山
- ◆ 唐松神社
- ◆ 角館神明社
- ◆ 長沼
- ◆ 六郷湧水群
- ◆ 浅舞のケヤキ
- ◆ 筏の大杉
- ◆ 三輪神社
- ◆ 小町の郷公園

入館料無料  
秋田県立博物館  
にもスタンプ設置!





すが え ま すみ

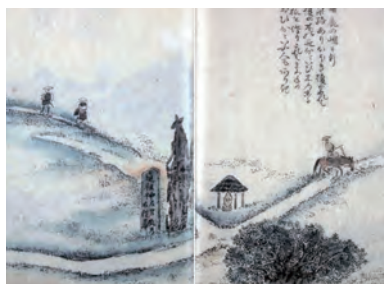
## 菅江真澄はどんな人？

みかわのくに

江戸時代中期から後期に生きた、三河国（愛知県東部）出身の紀行家です。故郷を旅立ってから今の東北地方と北海道をめぐり歩き、行く先々で見聞したさまざまな事柄を、絵と文章で記録しました。最も長く滞在したのは秋田で、亡くなるまで延べ29年間を過ごしました。旅日記や図絵集、地誌などの著作のうち、藩校明徳館に納められたものは国の重要文化財に指定され、その時代を知る貴重な資料となっています。



菅江真澄肖像画（秋田県立博物館蔵）



菅江真澄が描いた220年前の秋田市追分。手前が羽州街道、左上が男鹿街道（『男鹿の秋風』より）

## 日本風景街道とは？



「道」を舞台にした自然、歴史、文化などを発掘し、その地域ならではの魅力を「道」でつなぎながら地域の活性化や観光の振興を目指す取り組みで、2007年から登録申請が開始されました。現在、全国で144ルートが登録されていますが、そのうちの21ルートが東北地方にあります。

## 日本風景街道 「菅江真澄と巡るあきたの道」

「菅江真澄と巡るあきたの道」は、秋田県を南北に貫く旧羽州街道に沿った、国道13号から国道7号、国道101号にかけてをエリアとした日本風景街道の登録ルートです。ルート上には「菅江真澄の道」の標柱や説明板、歌碑が立っており、真澄が描き残した絵と現在の風景を見比べたり、当時の暮らしぶりに思いをはせることができます。秋田県にある33の道の駅を拠点に、菅江真澄と一緒に旅をしてみませんか。



標柱と説明板  
（男鹿市船越、八竜橋たもと）



歌碑（藤里町藤琴、水無沼）

※本紙に掲載の菅江真澄の絵は、3ページの「かづの」を除き、すべて秋田県立博物館蔵の写本です。

## 北秋鹿角、能代山本エリア

たかのす

### 大太鼓の里

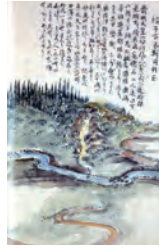
〒018-3301 北秋田市綴子字大堤道下62-1  
TEL.0186-63-2233



つづれこじんじゃ せんねんかつら  
◆綴子神社の千年桂(北秋田市綴子)

綴子神社の祭典(7月14・15日)には、世界一を競う大太鼓が繰り出す。神社境内には千年桂と呼ばれる巨木がそびえ、羽州街道を歩いた菅江真澄の標柱が立っている。

(道の駅から車で約5分)



綴子と羽州街道  
/『おがらの滝』より



千年桂

ふたつ

### きみまちの里

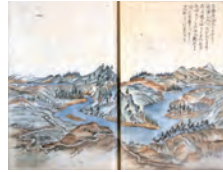
〒018-3102 能代市ニツ井町小繋字泉51  
TEL.0185-74-5118



さか  
◆きみまち阪(能代市ニツ井町小繋)

菅江真澄が歩いた当時、きみまち阪は羽州街道有数の難所といわれていた。明治天皇の東北巡行のときに新道が切り開かれ、現在は米代川の雄大な流れを望む桜の名所として知られている。

(きみまち阪公園まで道の駅から徒歩数分)



きみまち阪と七座山  
/『しげき山本』より



きみまち阪の切り通し

やたて峠

### 天然杉といで湯の里

〒017-0001 大館市長走字陣場311  
TEL.0186-51-2311



やたてとうげ  
◆矢立峠(大館市長走)

かつての羽州街道の難所で、秋田県と青森県の県境にある。菅江真澄をはじめ伊能忠敬、吉田松陰、イザベラ・バードなどがこの峠を越えている。

(道の駅の裏手から天然秋田杉の中をたどる散策路が延びています)



矢立峠遊歩道



はちもり

### お殿水

〒018-3301 山本郡八峰町八森字乙の水72-4  
TEL.0185-78-2300



こいりかわかいがん たていわ  
◆小入川海岸と立岩(八峰町八森小入川)

「岩館と小入川の浦との間に大きな岩がある。立岩という」(絵の説明文より)。現在、小入川海岸には、絵の風景を横切るように、五能線の鉄橋が架かっている。

(道の駅から国道101号を車で約10分)



『おがらの滝』より



五能線鉄橋と立岩

かづの

## 花輪ばやしの里あんたらあ

〒018-5201 鹿角市花輪字新田町11-4  
TEL.0186-22-0555



にしきぎづか

### ◆錦木塚(鹿角市十和田錦木)

錦木にまつわる悲恋物語が伝えられ、塚に隣接した「錦木地区市民センター」では、この物語を書き留めた菅江真澄の資料を展示している。

(道の駅から国道282号を車で約15分)



『錦木』より／大館市立栗盛記念図書館蔵



錦木塚



ことおか

## 土笛の里

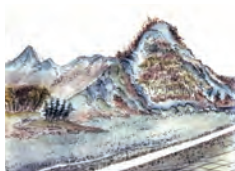
〒018-2104 山本郡三種町鹿渡字高石野126-1  
TEL.0185-87-4311

たかおかさん

### ◆高岳山(八郎潟町・三種町)

標高221mの山頂に式内社の副川神社が鎮座する歴史と伝説の山。登り約25分の頂上からは、八郎潟東岸地域(湖東部)と大潟村が一望できる。

(道の駅から登山口まで国道7号を約15分)



『かすむ月星』より



かみこあに

## 秋田杉と コアニチドリ

〒018-4421 北秋田郡上小阿仁村小沢田字向川原66-1  
TEL.0186-77-3238

もりよしざん

しきみこ

### ◆森吉山ダムと四季美湖(北秋田市根森田)

今から220年前の冬、菅江真澄は小又川の溪谷に架かる丸太橋を渡った。この絵の風景は、2011(平成23)年に完成した森吉山ダムのダム湖(四季美湖)により水没し、現在は見られない。

(道の駅から県道214号を車で約25分)



『雪の秋田根』より



四季美湖



みねはま

## ぼんぽこ101

〒018-2509 山本郡八峰町峰浜沼田字ホンコ谷地147-6  
TEL.0185-76-4649

しらたき

### ◆白瀑(八峰町八森館)

白瀑神社の裏手に不動尊をまつる白瀑があり、毎年8月1日の例祭日には、この滝つぼに神輿が入る豪壮な「みこしの滝浴び」が行われることで有名。

(道の駅から国道101号を車で約15分)



『雪の道奥雪の出羽路』より



白瀑

あに

## マタギの里

〒018-4735 北秋田市阿仁比立内字家ノ後8-1外  
TEL.0186-69-2575



もりよしざん

### ◆森吉山(北秋田市森吉山)

古くは秋田山とも呼ばれた信仰の霊山で、「花の百名山」としても親しまれている。菅江真澄はこの山に2回登っている。

(森吉山の登山アクセス=道の駅から町道幸屋線で登山口のブナ帯キャンプ場まで車で約35分。ゴンドラ利用の場合はゴンドラ山麓駅まで車で約25分)



『みかべのよるい』より



森吉山

ひない

## 比内鶏の里

〒018-5701 大館市比内町扇田字新大堤下93-11  
TEL.0186-55-1000



おおたきやくしじんじゃ

### ◆大滝薬師神社(大館市十二所)

大滝温泉の大滝薬師神社境内に湧出する温泉は、かつて湯つばにススキが生えていたことから、「すすきの出湯(いでゆ)」といわれた。菅江真澄は温泉の由来と習俗を絵と文で詳しく紹介している。

(道の駅から車で約10分)



『すすきの出湯』より



現在は境内に足湯が設けられている

こさか  
七滝

## ハートランドこさか

〒017-0203 鹿角郡小坂町上向字藤原35-3  
TEL.0186-29-3777



とわだこ はつかとうげ

### ◆十和田湖(発荷峠)(小坂町・鹿角市)

かんぼつ  
陥没した火口にできた周囲44kmのカルデラ湖。真澄は紅葉の季節に十和田湖を訪れ、『十曲湖』という旅日記でその景観を紹介している。

(道の駅から「樹海ライン」を車で約20分)



『十曲湖』より



発荷峠から望む十和田湖

大館能代  
空港

〒018-3454 北秋田市脇神カラムシ岱21-144外  
TEL.0186-62-5330



かわい えんぎょうひ

### ◆川井の延慶碑(北秋田市川井)

鎌倉時代後期の延慶2年(1309)の造立とされ、年号が刻まれている板碑いたびでは、県内で2番目に古いという。菅江真澄は碑の拓本たくほんを採っている。

(道の駅から県道24号を約15分)



『阿仁洒澤水』より



延慶碑

おおゆ

〒018-5421 鹿角市十和田大湯字中谷地19  
TEL.0186-22-4184



ちょうしのたぎ  
◆**銚子滝**(鹿角市十和田大湯)

四季折々によって姿を変える七変化の滝といわれ、紅葉のころは特に美しい。滝つぼ前に、この滝を詠んだ真澄の和歌を記した標柱が立っている。  
(道の駅から国道103号、104号を約20分)



『十曲湖』より

銚子滝

秋田中央エリア

てんのう

夢と神話の里  
〒010-0201 湯上市天王字江川上谷地109-2  
TEL.018-878-6588



かた みんそくてんじしつ  
◆**潟の民俗展示室**(湯上市天王)

天王グリーンランドのスカイタワー2F「潟の民俗展示室」では、干拓前の八郎潟でみられた漁法や漁具のほか、菅江真澄が描いた「氷下漁こおりしたりょう」の図絵を展示、紹介している。  
(タワーは道の駅構内にあり、展示室へはエレベーターを利用する)



『氷魚の村君』より

展示室

しょうわ

ブルーメッセ・あきた  
〒018-1415 湯上市昭和豊川竜毛字山ノ下1-1  
TEL.018-855-5041



きゅうな ら けじゅうたく  
◆**旧奈良家住宅**(秋田市金足小泉)

江戸時代中ごろに建てられた両中門造りの豪農の家(国指定重要文化財)。菅江真澄はここで秋田藩士らと会見し、それが領内の地誌を執筆するきっかけとなった。現在は秋田県立博物館分館として公開されている。9:30-16:30(冬期は16:00)、月曜日休館、入館料無料。  
(道の駅から国道7号、県道41号経由、車で約15分)



旧奈良家住宅主屋

真澄も座った居間

五城目

悠紀の国 五城目  
〒018-1856 南秋田郡五城目町富津内下山内字上広ヶ野76-1  
TEL.018-879-8411



こいけいたびぐん  
◆**小池板碑群**(八郎潟町小池)

「上小池という村に、田を耕作中に掘り出した多くの板碑がある」(菅江真澄)。板碑とは死者の霊を供養するため石に梵字を刻んだもので、現在は建屋の中に保存されている。  
(道の駅から国道285号、県道220号を車で約15分)



『ひなの遊び』より

## おがた

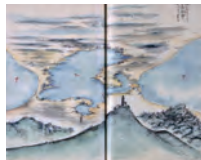
〒010-0445 南秋田郡大潟村字西五丁目2  
TEL.0185-22-4141



かん ふう ざん のぞ はちろうがたかんたくち

### ◆寒風山から望む八郎潟干拓地(大潟村)

国営干拓事業によって大潟村に生まれ変わった八郎潟。菅江真澄は鳥観図の技法で、干拓前の八郎潟の全景と寒風山(男鹿市)を描いている。  
(道の駅から寒風山山頂まで車で約25分)



『男鹿の秋風』より



寒風山からの眺望

## あきた港

### ポートタワー・セリオン

〒011-0945 秋田市土崎港西一丁目9-1  
TEL.018-857-3381



とおりまち

### ◆通町(大町一丁目・保戸野通町)

秋田市通町(大町一丁目・保戸野通町)は、藩政時代から商業の町として知られ、北部羽州街道の起点でもあった。菅江真澄は通町で歳末の市を見物して、その賑わいを詳しく記録している。  
(道の駅から県道56号を秋田市街地方面に車で約15分)



菅江真澄が描いた市の風景  
『雪の道奥雪の羽路』より



秋田市通町

菅江真澄を知るにはココがおすすめ!

### 秋田県立博物館(菅江真澄資料センター)

秋田県立博物館に併設されている「菅江真澄資料センター」では、菅江真澄の足跡や遺墨資料などを紹介しており、真澄について詳しく知りたい人には最適の施設です。



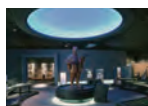
博物館  
ホームページ

〒010-0124 秋田県秋田市金足鳩崎字後山52  
TEL.018-873-4121

開館時間: 9:30 - 16:30 (11/1 - 3/31は16:00)  
休館日: 毎週月曜日、臨時休館あり。来館の際は事前に電話やホームページで確認してください。  
スタンプ設置場所: 1F菅江真澄資料センター展示室入口  
(わからない場合は、受付にお尋ねください)



秋田県立博物館



菅江真澄資料センター展示室

(道の駅しょうわ、道の駅てんのう、道の駅あきた港から、それぞれ国道7号経由、車で約15分~20分)

👉 スタンプも設置! 入館料無料

## おが

### なまはげの里

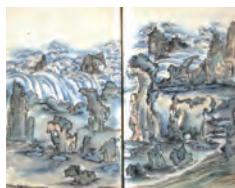
〒010-0511 男鹿市船川港船川字新浜町1-19  
TEL.0185-47-7515



しおせざき

### ◆潮瀬崎(男鹿市船川港門前)

波が洗う岩礁地帯に帆掛島、亀岩、ゴジラ岩など珍しい形をした岩が見られる。菅江真澄はこれら奇岩怪石のスケッチを何枚か描いている。  
(道の駅から県道59号を車で約20分)



『男鹿の秋風』より



ゴジラ岩

## 仙北平鹿、湯沢雄勝エリア

かみおか

### 茶屋っこ一里塚

〒019-1702 大仙市北楯岡字船戸187  
TEL.0187-72-4004



ながぬま

#### ◆長沼(大仙市北楯岡)

菅江真澄の絵の並木道は羽州街道(現在の国道13号)、その上の細長い沼が長沼で、かつての雄物川の河跡湖といわれている。

(道の駅と国道をはさんで反対側にあります)



『月の出羽路仙北郡』より



なかせん

### ドンパン節の里

〒014-0207 大仙市長野字高畑95-1  
TEL.0187-56-4515



かくのだてしんめいしゃ

#### ◆角館神明社(仙北市角館町岩瀬)

菅江真澄は秋田藩から依頼された地誌の取材途中で病に倒れ、1892(文政12)年7月(旧暦)に今の仙北市で亡くなった。角館神明社境内に「菅江真澄終焉の地」碑がある。

(道の駅から国道105号を車で約20分)



神明社拝殿



「菅江真澄終焉の地」碑(中央)

おがち

### 小町の郷

〒019-0205 湯沢市小野字橋本90  
TEL.0183-52-5500



こまち さとこうえん

#### ◆小町の郷公園(湯沢市小野)

湯沢市小野地区は、平安時代の美貌の歌人・小野小町生誕の地といわれ、菅江真澄もここを訪れて小町伝説を詳しく調べている。

(道の駅に隣接して小町伝承をテーマにした「小町の郷公園」や小町の旧跡が点在しています)



小町の郷公園



小町堂

さんない

### ウッディらんど

〒019-1108 横手市山内土淵字小目倉沢34  
TEL.0182-56-1600



いかだ おおすぎ

#### ◆筏の大杉(横手市山内筏)

山内筏地区の比叡山三十番神社境内にある秋田県内でも有数の杉の巨木。推定樹齢1000年以上といわれ、菅江真澄も「平鹿郡第一の大樹也」と記している。

(道の駅から国道107号、県道40号経由、車で約15分)



『雪の出羽路平鹿郡』より





## 美郷

〒019-1302 仙北郡美郷町金沢字下館124  
TEL.0182-37-3000



ろくごうゆうすいくん

### ◆六郷湧水群(美郷町六郷)

六郷は「清水の里」として知られ、菅江真澄も湧き水の絵をたくさん描き残している。この絵はその中でも代表的な「御台所清水」。これらの清水は、六郷湧水群として環境省の「全国名水百選」に選定されている。  
(道の駅から国道13号を車で約10分)



『月の出羽路仙北郡』より



御台所清水

## 協和

### 四季の森

〒019-2412 大仙市協和荒川字新田表15-2  
TEL.018-881-6646



からまつじんじや

### ◆唐松神社(大仙市協和境)

安産と子授けの神様として信仰を集めてきた唐松神社。県指定文化財の奥殿、参道の杉並木など見どころが多く、菅江真澄も見事な並木を描いている。  
(道の駅から国道46号を約15分)



『月の出羽路仙北郡』より



参道の杉並木

## 十文字

### まめでらが～

〒019-0529 横手市十文字町字海道下21-4  
TEL.0182-23-9302



あさまい

### ◆浅舞のケヤキ(横手市平鹿町浅舞)

「浅舞の榎の木」とも呼ばれるケヤキの巨木。清水が湧き出る琵琶沼のほとりにそびえ、菅江真澄のスケッチでも、ひととき大きく描かれている。  
(道の駅から県道117号を車で約15分)



『雪の出羽路平鹿郡』より



浅舞のケヤキ(榎の木)

## うご

### 端縫いの里

〒012-1131 雄勝郡羽後町西馬音内字中野200  
TEL.0183-56-6128



みわ じんじや

### ◆三輪神社(羽後町杉宮)

室町時代の建立とされる神社本殿は、国指定重要文化財。菅江真澄が訪れたころは、絵に見られるように境内に杉の木が多く、杉の宮とも呼ばれていたという。  
(道の駅から車で約10分)



『勝地臨毫雄勝郡』より



三輪神社本殿

※菅江真澄の記録が残っていないところは、近隣の施設・名所などを紹介しています。

## 本荘由利エリア



にしめ

はまなすの里

〒018-0604 由利本荘市西目沼田字新道下1112-2  
TEL.0184-33-4260

ほんじょうこうえん  
◆本荘公園(由利本荘市尾崎)

江戸時代の初めに本城氏が築いた城跡で、土塁とお堀が残る。  
大手門が復元され、桜やツツジが咲き誇る公園として市民に親しまれている。  
(道の駅から国道7号を車で約10分)



本荘公園の大手門



東由利

黄桜の里

〒015-0211 由利本荘市東由利老方字畑田28  
TEL.0184-69-2611

いしざわきょう  
◆石沢峡(由利本荘市大築)

溪流をはさんだ両側に切り立った屏風岩と呼ばれる断崖が続く、峡谷を通りぬけた遊歩道の最奥には、落差15メートルの石沢大滝がある。  
(道の駅から国道107号を車で約20分。遊歩道は12月～4月下旬閉鎖)



象潟

ねむの丘

〒018-0121 にかほ市象潟町字大塩越73-1  
TEL.0184-32-5588

かんまんじ  
◆蛸満寺(にかほ市象潟町象潟島)

かつて潟だったころの象潟島にあり、境内に舟繋ぎ石が残る。松尾芭蕉をはじめ多くの文人墨客が足を運んだ古刹(＝由緒ある古い寺院)で、菅江真澄も潟めぐりの舟で訪れている。(蛸満寺へは道の駅から徒歩圏内)



蛸満寺山門



岩城

島式漁港公園 岩城アイランドパーク

〒018-1301 由利本荘市岩城内道川字新鶴湯192-43  
TEL.0184-73-3789

かめだ ふどうたき  
◆亀田不動滝(由利本荘市岩城滝俣)

衣川の上流にかかる落差約20mの滝で、みごとな玄武岩の柱状節理が見られる。俳人・石井露月による「筆下虹あり秋の水飛ぶ五十尺」の句碑が立っている。(道の駅から国道7号、341号経由、車で約25分)



おおうち

は～とぽ～と大内

〒018-0711 由利本荘市岩谷町字西越36  
TEL.0184-62-1126

あかた だいぶつ  
◆赤田の大仏(由利本荘市赤田)

全国的にも珍しい神仏混淆の祭典が行われることで知られている長谷寺に、高さ9.1メートルの巨大な観音像「長谷十一面観世音菩薩」があり、「赤田の大仏」と呼ばれ親しまれている。(道の駅から県道69号を車で約10分)



清水の里  
鳥海郷

〒015-0721 由利本荘市鳥海町上笹子字塚台100  
TEL.0184-59-2022

ほったい たき  
◆法体の滝(由利本荘市鳥海町百宅)

本荘市内を流れる子吉川の源流に近い位置にあり、上流から一の滝、二の滝、三の滝と三段になって流れ落ちる。落差約57メートル、「日本の滝百選」にも選ばれている名瀑。(道の駅から県道70号を車で約30分)

